未来をつむぐライフマガジン

ボラみみ

FREE PAPER
無料
ご自由にお持ち下さい

2024年 No.256
03・04月号

編集・発行　特定非営利活動法人 ボラみみより情報局　■発行日：2024年3月1日　■発行部数：9000部
©ボラみみより情報局2024　禁・無断転載

今号のテーマは、**はぐくむ**。

「はぐくむ」の語源は「は（羽）」＋「くくむ（含む）」。親鳥が羽でひなを包む姿に由来します。
そういえば、英語で「抱きしめる」ことを「hug（はぐ）」と言いますね。
「はぐくむ」という言葉の響きには、どことなくやさしさやあたたかさを感じます。
でも、ただやさしく包み込むだけでよいのでしょうか。
一人ひとりが主体的に自分らしく生きること。そして、自分らしさを表現できること。
子どもたちが輝ける社会を築くために大切なことを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

INDEX

2024 3·4

- なりたい自分になる!望む社会を創る!自立と共生のチカラを育む学校 オルタナティブ・スクールあいち惟の森 青野 桐子さん　P.02
- オペラミュージカルから主体性をはぐくむ オペラミュージカルSPICA 竹之内 奏さん　P.05
- 減り続ける「生徒数」と、増え続ける「不登校生徒数」　P.07
- カッテに社会派!映写室 vol.14　P.08
- 第80回 企業の社会貢献活動の現場から　P.09
- あなたの街のボラスポ紹介!　P.09
- CivicTech入門 10　P.10
- ボランティア情報　P.11
- ボラみみINFORMATION　P.15

オルタナティブ・スクール
あいち惟の森

なりたい自分になる！望む社会を創る！自立と共生のチカラを育む学校

Interview

オルタナティブ・スクールあいち惟の森 校長
青野 桐子さん

「オルタナティブ・スクールあいち惟（ゆい）の森」は、子どもの権利を基盤に、子どもの社会参画を地域で実践してきたNPO法人こどもNPOと、教育指導者に寄り添い、参加型の人権・環境・平和教育を推進してきたNPO法人NIED・国際理解教育センターが設立した学校です。二つの団体が大切にしてきた子ども観や市民性教育がベースとなり、子どもが子ども期の「今」を自分らしく生き、生き物の命や自然が守られ平和で持続的な社会を創るには、人権教育や市民性教育が鍵になるという想いを込めて創られました。今年度で5周年を迎えた同校の校長、青野桐子さんにお話を伺いました。

自分を生き、ともに生きるチカラを育む「もう一つの学校」

オルタナティブ・スクールあいち惟の森の基本理念は大きく三つあります。一つ目が「自分らしく十分に生きる学校」、二つ目が「学ぶことの本質を味わう学校」、そして三つ目が「よりよい未来をともに創る学校」です。あいち惟の森では、自分の「やってみたいこと」「やりたいこと」を探求し、その中で自分らしさを見つけていくことを大切にしています。また、多様で異なる人同士がお互いを認めあい、みんなにとって心地よい学校を創っていく教育活動とカリキュラムで構成されています。学校は一つのコミュニティ。子どもたちが学校づくりに参画し、この小さなコミュニティを創っていく実践を重ねています。

例えば今、「プロジェクト」の時間に「庭に砂場を作りたい！」という子どもたちの声がきっかけで、低学年のメンバーが遊び場づくりのプロジェクトを進めています。先週、実際の砂場の大きさに杭を打って、こんな感じの砂場になるんだねということを体感していました。メジャーの使い方をはじめ、メートルという単位がどのぐらいなのか、砂はどれだけ必要になるのかといったことを学んだり、数学的、デザイン的視点からも、一人ひとりが自分の考えを伝えあい、みんなが納得する考えを出しあって決めています。

こうした合意形成のスキルを学ぶのは「テーマ・ス

オルタナティブ・スクールあいち惟の森の基本理念

キル学習」。自分に関わるチカラ、他者に関わるチカラ、そして自分を含めた多様な中でみんなに関わるチカラを育むカリキュラムです。スキルを学び、そのスキルを日常のなかで使う練習が必要です。「テーマ・スキル学習」では、コミュニケーションや人権や環境、平和といった世界共通のテーマを扱い、今世界や地域で実際に起きていることを知り、考える機会になっています。

毎週行われる「全校ミーティング」では、みんなで話しあいたい議題が挙げられ、小1 ～中2の子ども28人とスタッフが多数決ではなく、参加する全ての人が納得できるよう対話を重ねて決めていきます。

設立の経緯と多様な教育への思い

あいち惟の森は昨年10月で5周年を迎えました。2012年頃から準備を始めて、2014年にプロジェクトが立ち上がり、設立までに4 ～ 5年かかりました。中心となった二つのNPO法人に関わる有志の方たち（NPOやNGOで働いている人たち、教員、地域のボランティア、保育士の方々など）30人ほどの仲間で基本構想を創りました。子どもの育ちや社会の在り方への願いが込められた学校です。

オルタナティブ・スクールは「もう一つの学校」と呼ばれています。既存のもの（公教育）とは異なる独自の教育理念を持ち、その理念の実現を目指している学校です。名古屋市内にはまだ数は少ないですが、愛知県内で見るととても増えてきていて、いろんなタイプのオルタナティブ・スクールが設立されています。

学校法人ではないので、あいち惟の森にいる子どもたちはみんな、自分の地域の学校に籍を置くことになっています。保護者から学校側に出席日数を報告してほしいと言われたときには、学校に毎月出席日数を

遊び場づくりで砂場をつくる

民家を改修した学び舎での授業

高学年クラスの修学旅行は、目的や行く場所、コースなどを自分たちでプランニング

全校ミーティングのファシリテータの事前ミーティング

中学部初めての海外研修。ICANのフィリピンスタディツアーに参加

報告するなどの連絡をしています。

私たちは、人は多様であり、誰もが同じ方法で学ぶということには無理があると思っています。誰もが教育を受ける権利が保障されることは必要ですが、一人ひとりが自分らしく生きるための学び方は、決して画一的なものではないはず。多様な人、多様な教育を認めてほしいというのが根底にあります。

多様な教育を選択できる動きはとても良いことと捉えています。子どもが自分の学び方を選択できる社会づくりに貢献している市民グループやNPOをもっと応援してほしいですね。私たちのような学校が主流になるというより、公教育も含めて多様な選択肢の中の一つとしてあるといいなと思います。公と民の立場を超えて「子どもにとって何が本当にいいのか」を考えていけるといいですね。既存のあるべき論ではなく、子どもの育ちや学びがどうあったらいいかを話しあえる場がほしいです。そこには「子どもの権利」という視点が必要です。子どもがここで学びたい、と学ぶ場を自分決定できる社会にしていきたい、学びの主体者である子どもの視点で、公と民が互いの得意を活かして教育の仕組みや制度を設計していけることを願っています。

あいち惟の森の今とこれから

設立して5年経ちましたが、私自身は結構悩みながら、模索しながらの日々です(笑)。子どもたちの「やってみたい」と思う気持ちが自然と湧き出てくるように、その子のタイミングで探求ができ、学校というコミュニティを運営しながら培ったチカラを発揮できるには、まだまだ工夫の余地があるのではと自問自答しています。

惟の森のカリキュラムは、自発的な学びと多発的な学びがミックスされています。その組み合わせや適度なバランスは一人ひとり違うんですよね。どこに合わせて時間割やカリキュラムを作っていけばいいのかという点もとても難しいなと思います。

また、地域の人に学校を知ってもらい、遊びに来てもらえるような場にできたらと思います。今(インタビュー中に)ちょうどトラックが入ってきましたが、地域の建築家の方たちが活動を支えてくれています。冒頭にお話しした低学年クラスのプロジェクト「遊び場づくり」では、地域の人たちにも学校を開放しようと子どもたちが準備をしています。設立5年を契機にもっと地域とつながれるといいですし、地域をフィールドにした活動や学びが広がっていくといいなと思っています。

Information

オルタナティブ・スクールあいち惟の森
小学部・中学部

名古屋市緑区鳴海町字大清水 69-1116
TEL：052-848-7490
URL：https://www.yuinomori.org/

オペラミュージカルから主体性をはぐくむ

オペラミュージカルSPICA（スピカ）
代表：竹之内 奏（かな） さん

「オペラミュージカルの教室」と聞いて、どんなことをイメージしますか？きっと音楽や歌の力、舞台での演技力を想像すると思います。SPICAのミュージカル教室は子どもたちの主体性を大事にしています。下は2歳から上は社会人まで、オペラミュージカルを通して主体性をはぐくみ、生きる力を身に付けることができるのがSPICAの魅力です。

大学生の頃に立ち上げて今年で20年

2004年の立ち上げ当時の生徒数は6名でしたが、今では約80名が在籍し、年齢別で3クラスあります。2歳から社会人まで年齢層は幅広いです。当初、生徒は小学生までの予定でしたが、「中学生になってもやりたい」というリクエストがあり、中学生、高校生、大学生、大人になってもという感じで続いています。私がSPICAを設立したきっかけは中学生の時にさかのぼります。子ども向けのミュージカルを作っている教室に、お手伝いで携わることになり、そこで衝撃を受けました。私は2歳からピアノを習っていましたが、ピアノが楽しいと思ったことは1度もありませんでした。しかし、その教室のお手伝いを通じて、初めてチームで誰かと一緒に音楽に関わり、それがとても楽しかったのです。初めて音楽が楽しいなと思った瞬間です。自分の得意がこうやって生かせるんだということが分かり、「子どもたちに音楽の楽しさを教えたい」という思いから、大学4年生の時にSPICAを立ち上げました。

子どもたちが自主的に動く環境

普通、舞台の場合、並び順や、誰がどこで何をするのかが決まっていて、それを繰り返し練習で叩き込んで、当日、全く同じことをするのが基本だと思います。しかしSPICAでは、並び順も、振り付けも、自分たちで決めます。振り付けは、ダンスが得意な子が数人いるので、その子たちの振りを真似して覚える感じです。年齢層も幅があり、いろんな特徴を持った子がいるので、何かあった時は、それに気付いた子が舞台を成功させるために自主的にフォローしています。通常、指導者は舞台袖にいるものですが、SPICAは生演奏にこだわっていて、私自身も演奏のため、本番の時はオーケストラピットという舞台の下の部分に入ってしまっているので、何かあっても分かりません。舞台上で小さい子が嫌がって出てこないとか、使うはずの小道具がないとか、壊れるとか、そういう小さなハプニングはたくさんあります。その都度、自分たちで判断して、これが壊れたから、これを代わりに持っていこうとか、泣いちゃった子を抱っこしてでも出すのか、出さずに引っ込めるのかということも、その時気付いた子どもたちが判断しています。それは、私自身が子どもたちを信じていないとできないことだと思います。

音楽や舞台の技術よりも、主体性と表現をはぐくむ場

上手に歌える、上手に踊れることはもちろん大事ですが、1つのものを作っていく中で、自分たちで考え、自分たちで作り上げて、違う年齢のメンバーとやり抜くことは、将来社会に出た時に生きていくでしょう。それは音楽を仕事としない場合でもです。そして、自分の気持ちや自分の意

志を表現できるような人間になってほしいと思っています。

SPICAを続ける理由

・丸岡 千紘さん（大学生）

私は保育士を志望しています。保育士は子どもが好きという気持ちが前提にないと辛い仕事だと思うんです。私は毎週SPICAに来て、22歳の視点から子どもたちと関わることで、「やっぱり子どもが好き」「関わることが楽しい」と毎回感じられるんです。保育士になりたいという気持ちを再認識できる場所だと思っています。

・田中 葉月さん（社会人）

私は働きながらSPICAを続けています。土曜日の夜、毎週来られるSPICAという場所があることは、私にとってすごく大きいです。学生の時は気付きませんでしたが、社会人になって、それが当たり前の環境ではなくなった時に、いかにこの場所が大事だったか、自分にとっての価値の大きさをすごく感じています。

生徒からみたSPICAの活動で得たもの

・佐々木 琴美さん（社会人）

元々は自分のことしか考えていなかったのですが、小さい子と一緒に同じ舞台を作らなければいけないということで、自然と子どもの面倒を見るようになりました。今、自分が学校の先生として働き始めることができたのも、SPICAで中学生や小学生と触れ合って、人との関わりの部分がはぐくめたからこそだと思います。

・田中 葉月さん（社会人）

自分を出すことを恐れなくなった気がします。私はSPICAに中学生から入ったので、それこそ思春期の頃でした。反抗期でもあったので、自分を受け入れていなかった時でした。本当は人がどう思っているのか分からないのに、自分の意見を言わないで自己完結し、勝手にシャットアウトしてしまっていたのですが、自分の思いを相手にちゃんと言えるようになりました。

・丸岡 千紘さん（大学生）

いろんな人がいて、いろんな考えもあるんだっていうことを、そのまま受け止められるようになりました。最初の頃は、いろんな人や考えがあることに戸惑っていましたが、今では人の考え方の「いいね」を取り入れることもあれば、自分の考えを伝えたい時はちゃんと言葉にして伝えられるようになりました。

・澤田 安莉さん（大学生）

SPICAに入るまでは自分に自信が持てなかったんですが、SPICAに入って、舞台に立ったり、人前で話したりすることで、舞台上ではすごく自信が持てることが分かりました。キラキラした世界に自分も入れるということで自信がつき、少し自分が好きになれたりもして成長を感じています。

SPICAの未来

設立当時、幼稚園児だった子が23歳になった今でもここに居続けてくれるとは思ってもいませんでした。これからも、今のやり方に縛られず、みんながずっと関わり続けてくれるような形に、変化し続けられるといいなと思っています。そして、子どもたちが楽しい人生だなと思えるような場所であってほしいです。

Information

オペラミュージカルSPICA

・ホームページ：
https://operamusical-spica.jimdofree.com/

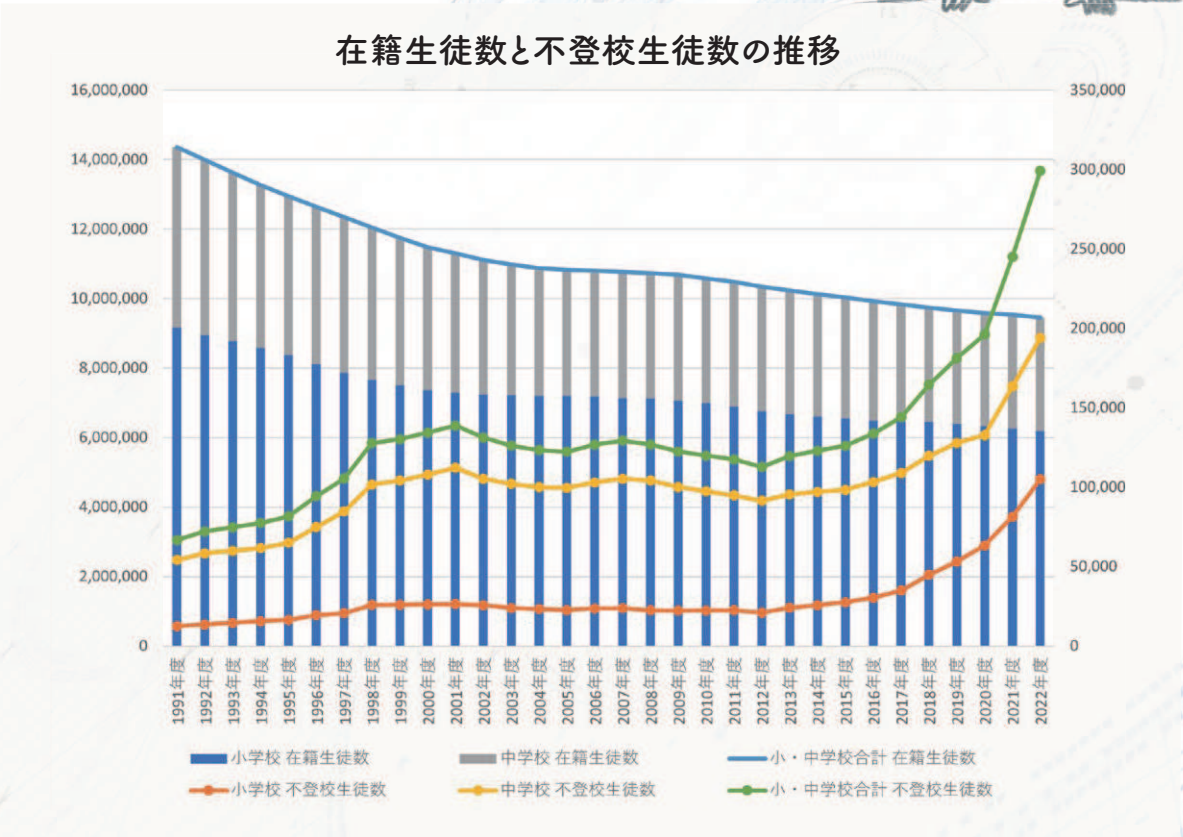
・連絡先：サイト内問い合わせページ

減り続ける「生徒数」と、増え続ける「不登校生徒数」

少子化と言われて久しい日本の小・中学校児童生徒数を文部科学省の調査資料で見ると、1991年度（平成3年度）の14,345,743人から2022年度（令和4年度）の9,442,083人と30年間で65.8％まで減少していることが分かります。その一方で、小・中学校の不登校児童生徒数は、1991年度の66,817人から2022年度の299,048人と4.5倍も増えています。この不登校生徒数を小・中学校別にみると、小学校は1991年度の12,645人から2022年度の105,112人と8.3倍、中学校は1991年度の54,172人から2022年度の193,936人と3.6倍に増えています。

児童生徒数が減少する中で不登校生徒数が増加する状況は、子どもたちを取り巻く社会環境に大きな課題があるのではないかと感じています。この資料では不登校の要因として、本人に係る状況63.2％、学校に係る状況20.3％、家庭に係る状況11.6％、該当なし5％の順になっており、6割が本人に係る状況であることに違和感を覚えます。本人に係る状況をさらに見ていくと、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が11.4％で、「無気力、不安」が51.8％と分類されていますが、子どもたちは自立して生活環境を整えることはできない存在なので、生活リズムが乱れ、無気力や不安に陥る原因は、社会環境、学校や家庭の環境にあるのではないかと考えています。

フリースクールやオンライン授業など多様な学び方が進んでいますが、子どもたちを社会で「はぐくむ」環境が整備されていくことを願います。



https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_1.pdf
「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」（令和5年10月4日発表）文部科学省初等中等教育局児童生徒課の資料より作成

カッテに社会派！映写室 Vol.14

雄獅少年／ライオン少年

2021年　中国
監督　ソン・ハイポン

日本の獅子舞しか知らなかった私にとって、この映画に登場する中国の獅子舞は衝撃でした。もふもふしていて、色鮮やかで美しく、そして動きが激しい！そんな獅子舞に魅了された少年たちの物語です。

物語は、出稼ぎに出ている両親の帰りを待つ少年チュンが、華麗な獅子舞バトルで屈強な男を倒した少女から獅子頭を譲り受けたところから始まります。出稼ぎに行った両親に自分の元気な姿を見せるため、仲間と共に獅子舞競技会への参加を決意。貧しく、弱いが故に周りから見下されてきた彼らが「いじめられるために生まれてきたわけじゃない！」と奮起し、師匠と共に競技会を目指す姿は応援せずにはいられません。そして、主人公や仲間たちが成長していく姿だけではなく、彼らを支える大人たちの変化も素敵です。

映画の中では、急速な経済発展の陰で、祖父母たちと共に故郷に残されている、出稼ぎ労働者の子どもが直面する「留守児童」問題や格差社会の現実も浮き彫りになっています。2020年時点で、中国ではチュンと同じように親が出稼ぎに出ているために共に暮らせない子どもが6600万人を超え、会えない期間も半年から、長い場合には数年にわたり、残された子どもたちは多感な時期に親と会えない不安感を抱えています。さらに出稼ぎに出ていても貧困状態が続いたり、子どもも就労し、高度な教育が受けられないなどの問題も指摘されています。チュンも現実的な意味でとても重い状況に置かれているのです。

監督のソン・ハイポンは「獅子舞は、小さくて弱かった彼を、迷うことのない、より力強い人間に変えました。チュンは元の生活に戻っても、これまでと違う自分として生きていくでしょう。それがこの映画で伝えたかった力」だと言います。獅子舞に出会ったからといって彼が貧困から抜け出せたわけではありません。でも「強くあれた、強くなれた」経験は心の中に残り、獅子舞の太鼓の音は鳴りやむことなく、きっと彼を支え続けるのでしょう。「真面目に生きるすべての普通の人たちに捧ぐ一杯の酒にしたい」という監督の言葉通り、真面目に生きる普通の人々へのエールと、そういう人たちがチャンスを得られる社会への願いが込められているように思います。

ライター・まち

獅子頭の毛や激しいバトル、農村から都会の風景まで、とにかくCGアニメーションが美しい！そして、音楽がさらに映像を引き立てています。そんな「雄獅少年2」が今年公開予定だそうです。楽しみ！

第80回

企業の社会貢献活動の現場から

地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の活動を紹介していただいております。
80回目となる今回は、株式会社依佐美です。

地域の防災力アップに向けて

株式会社依佐美　代表取締役　加藤一憲

ヨサミグループ（株式会社依佐美・株式会社ヨサミケアサービス・株式会社M.K.フード）は、愛知県刈谷市で不動産の賃貸管理とサービス付き高齢者向け住宅を運営しています。「笑顔あふれる最幸のアクティブライフに貢献する」を企業理念とし、日々皆様への安心安全な住まいの提供を心がけています。

安心安全な住まい作りの一環で、防災への取り組みに力を入れています。私自身が刈谷市の消防団に所属していることもあり、当社のお客様、従業員のみならず、広く地域の方に備える重要性を伝えていくことも、理念に通ずる活動だと考えています。

賃貸マンションや高齢者住宅でのこれまでの訓練から、地域も巻き込む形の防災訓練を作りたいと考え、昨年10月にナゴヤ防災サミットのお力を借りて、「ソナエルヨサミ 第1回」を開催しました。当社では毎年春と秋に2回「おさんぽマルシェ」を開催していますが、その雰囲気と同じように、堅苦しくなく、「ちょっとおしゃれに、カジュアルに」をコンセプトに、お子様も女性も散歩ついでに参加でき、イベントのついでに防災知識も学んでもらうことで、地域の防災力アップを目指しました。当日は、火災ベルを鳴らして住民みんなで避難訓練をし、家庭の防災グッズを確認し合うところからスタート。防災グッズの説明や心臓マッサージの実演を行いました。そのほか、当社の取引業者様による災害時に使える防災器具や調理器具の展示即売、防災食をアレンジした料理の試食とレシピ提供、AEDの使い方講習、消防団による消火器の使い方講習とお子様に人気の消防車の乗車体験・撮影会を実施しました。イベントの締めは、名古屋を盛り上げるビジュアル系バンド「麗麗-reirei-」のライブで花を添えていただきました。高齢者×防災×ビジュアル系の異色コラボが予想以上の大盛り上がりで、地域の輪の形成に役立ったかなと思います。

これからも一人ひとり仲間を増やし、来る南海トラフ巨大地震に負けない強い地域作りに貢献できればと考えています。

株式会社依佐美　〒448-0816　刈谷市半城土西町2丁目3番地6
TEL：0566-22-8265　FAX：0566-25-8228　URL：https://yosami.co.jp/

あなたの街のボラスポ紹介！

ボランティアやNPOの情報を得ることができる
あなたの街のボランティアスポットを紹介していきます。

春日井市市民活動支援センター「ささえ愛センター」

まちづくりを支える市民活動の拠点！

市民活動団体やボランティアグループ、NPOなど、市民が自主的・自発的に行っている公益的な活動を支援するとともに、協働によるまちづくりを推進するため、市民活動やボランティア活動に関する相談や情報の発信を行っています。また、団体の活動を支援するため、印刷機などの貸出や集会室の貸館業務を行っています。これから活動を始めたい人も、お気軽にご相談ください。

■**所在地**　春日井市春見町3番地　■**開館時間**　9:00 ～ 21:30（休館日：月曜日、12/29 ～ 1/3）
■**連絡先**　TEL：0568-56-1943　FAX：0568-56-4319
E-mail:sasae-i@city.kasugai.lg.jp　ホームページ：https://kasugai.genki365.net/

シビックテック

CIVIC TECH入門 10

「シビックテック」ってご存知ですか？直訳すると「市民技術」とでも言いましょうか。市民や行政とIT技術者が協力しつつ、ITをうまく活かして社会課題に取り組む活動です。2013年にCode for Japanという団体ができた後、「Code for OO」という団体が日本中に80ほど生まれ、各地でシビックテック活動に勤しんでいます。この連載では、名古屋のシビックテック団体Code for Nagoyaの関係者が、いろいろなシビックテック事情をご紹介します。

今号では、Code for Nagoyaの安田繁さんから、プログラミング言語の入門書を執筆した経験をもとに、エンジニアの育成についてご紹介いただきます。

シビックテックをやっていると、プログラミングを覚えてアプリ開発をやってみたいという方に出会うこともよくあります。私は講師としてエンジニア育成に携わっており、昨年末に未経験者向けのPython入門書を書かせていただきました。その時に考えていた、初心者が技術を学ぶために必要なことをご紹介させていただきます。

技術に限らずですが、何かを身につけていく場合に必要なことは3つだと考えています。それは、①小さな成功、②小さな失敗、③積み重ねです。

①小さな成功

人は「上手くいく」という経験を通して新しいことを理解できるようになります。出来なかったことが出来たという気づきが重要で、その成功体験は大きな成果ではなく小さなもので良いということです。

②小さな失敗

何でも1回で出来るようになる人もいますが、多くの人は何度かの失敗を経て成功にたどり着きます。このとき、大きな失敗はやる気を削いでしまうので、簡単に超えられる小さな失敗である必要があります。そして失敗は「上手くいかない方法を回避する知恵」もあわせて身につけることが出来ます。これは失敗を経験した人でなければ身につけることが出来ない重要な知識です。

③積み重ね

目指す目標が高いほど達成することは難しいですが、小さな成功と小さな失敗を積み重ねていくことで高い目標もいずれ到達することが出来ます。一気に高い目標に向かうのではなく、階段を一歩ずつ上って目標に近づいていくイメージを持つと良いです。

昨年末にリリースした書籍はAmazon Kindleで読むことが出来ます。タイトルは「Pythonやるならまずはここから」です。本書では小難しい技術説明から入るのではなく、「課題→サンプルプログラム→解説」の構成になっていて、小さなプログラム作成から始まり、一歩ずつステップアップしていけるようになっています。プログラミングを学んでシビックテック活動に活かしてみたいという方は、ぜひお手に取っていただければ幸いです。YouTubeで解説動画を公開していますので、そちらも合わせて御覧ください。

書籍リンク：https://amzn.asia/d/cTBxuyl　YouTube：https://www.youtube.com/@ysdjs

ボランティア情報

ホームページにも情報満載！
http://www.boramimi.com

ボランティア初めの一歩　大切なマナー&ルール

- **新型コロナウィルスの状況等により、変更・中止となる場合もあります。必ず事前に各団体にご連絡ください。**
- 希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件（ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい）を正確に伝えましょう。
- ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。

みずほこどもまつりスタッフ募集

2020年3月に幻となってしまった「みずほこどもまつり」から4年が経過し、ようやく今年、復活となりました。そのため、ボランティアスタッフをたくさん募集します。4年ぶりということでみんなワクワクしています。ぜひ一緒にエンジョイできる方のお申込みお待ちしております。

青少年　まちづくり　名古屋市 瑞穂区

- **日　時**：3月3日（日）9:00～17:00
  3月2日（土）13:00～打ち合わせ
- **場　所**：瑞穂生涯学習センター
  名古屋市瑞穂区惣作町2-27-3
- **その他**：お名前、年齢、学生の場合は学校名、当日の連絡先を記入して、FAX、Eメールにてお申込みください。
  【子ども連れでの参加】可能　【申込〆切】3月2日（土）
  【定員】20名・先着順

問合せ
みずほこどもまつり実行委員会
担当：シオタニ
FAX：052-871-2256
E-mail：mizuhokodomomatsuri@ymail.ne.jp

「かさでらピクニック」ボランティアスタッフ募集

笠寺観音の桜の開花に合わせて開催する、笠寺観音商店街の春のお祭り「かさでらピクニック」のボランティアスタッフを募集します。主な作業内容は、交通誘導、お客さんアンケート、ヤギのお世話です。

まちづくり　文化　名古屋市 南区

- **日　時**：3月16日（土）9:00～19:00
- **場　所**：笠寺観音商店街
  名古屋市南区笠寺町
- **その他**：Eメールにてお申込みください。笠寺西門南交差点パチンコキングさんの駐車場5階・6階をお使いいただけます。
  【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】3月7日（木）

問合せ
笠寺観音商店街振興組合・かさでらピクニック実行委員会
担当：青山
TEL：090-9268-7695
E-mail：kasaderasyotengai@gmail.com

熱田ぐるりんウォーキング

今年で23回目になるウォーキングの運営をお手伝いください。熱田区の歴史を歩きながら学ぶウォーキングです。受付の補佐やウォーキングの見守りをお願いします。事務局は熱田区役所で、協働イベントです。

まちづくり　スポーツ　名古屋市 熱田区

- **日　時**：3月23日（土）8:00～12:00
- **場　所**：法持寺
  名古屋市熱田区白鳥1-2-17
- **その他**：電話、FAX、Eメールにてお申込みください。Eメールにてお申込の方はタイトルに「熱田ぐるりんウォーキング」と明記願います。
  【持ち物】暖かい服装【申込〆切】3月17日（日）

問合せ
NPO法人堀川まちネット　担当：川口
TEL/FAX：052-217-8106（15:00～19:00）
携帯：080-5132-3130（16:00以降）
E-mail：horikawa-machinet@horikawamachi.net

やろまいか！愛・地クリーン作戦

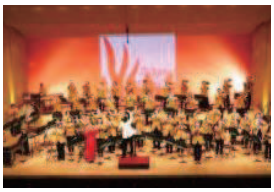
ジブリパークがある愛・地球博記念公園（モリコロパーク）及びその周辺道路での市民による一斉清掃活動の参加者を募集します。道路（コース上：歩道部分）に落ちているごみの収集、収集したごみの分別作業をします。

環境　まちづくり　愛知県 長久手市

- **日　時**：3月24日（日）10:00～12:00（小雨決行、荒天中止）
- **場　所**：愛・地球博記念公園周辺道路
  長久手市茨ケ廻間乙1533-1
- **その他**：ホームページまたはEメールからお申込みください。長ズボンや歩きやすい靴でご参加ください。【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】3月21日（木）

問合せ
NPO法人愛・地球博ボランティアセンター
担当：渡邉
TEL：070-8307-0351（事務所携帯）
E-mail：yaromaika2016@gmail.com

吹奏楽コンサート受付ボランティア募集



愛知県内で活動しているアマチュア吹奏楽団・名古屋ウインドアンサンブルの第42回定期演奏会を手伝っていただける方を募集いたします。小学生以下は入場無料のため観客は親子も多く、アットホームな雰囲気の演奏会です。チケットもぎり、クローク受付、館内・客席案内や演奏会終了後のアンケート回収などにご協力ください。

文化　愛知県 長久手市

■日　時：4月7日（日）11:45～17:00
■場　所：長久手市文化の家 森のホール
長久手市野田農201
■その他：ホームページまたはEメールにて事前にお申込みください。当日はスーツまたは華美でない服装でお願いいたします。【申込〆切】3月23日（土）【定員】10名・先着順

問合せ
名古屋ウィンドアンサンブル
担当：秋田
E-mail：nagoya_wind-concert@yahoo.co.jp

第22回杜の宮市ボランティア募集

年に1度開催のクラフトイベント「杜の宮市」を一緒に創り上げてくれる方、お手伝いをしてくれる方を募集しております。作業内容はチラシ作成や企画の立案等。前日準備は、ブースの区画割りや印刷等。当日はテント設営や交通誘導、来場者対応等です。少しでも興味のある方はホームページをご覧下さい。

文化　まちづくり　愛知県 一宮市

■日　時：当日5月4日（土・祝）、前日5月3日（金・祝）
定例ミーティング　木曜日19:00～21:00
■場　所：当日　真清田神社とその周辺
定例ミーティング　com-cafe三八屋（サンパチヤ）2階
一宮市本町4-1-9
■その他：ボランティア登録フォーム（QRコード）に入力をお願いします。【子ども連れでの参加】可能
【URL】http://www.miyaichi.net/

問合せ
杜の宮市準備委員会
担当：吉田・星野
TEL：070-5641-1188（平日は19:00～21:00）
FAX：0586-72-8885 E-mail：info@miyaichi.net

みつばちボランティア募集！

愛知県長久手市にある愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で、日本ミツバチの飼育を始めます。そこで、お手伝いをしていただける方を募集します。作業内容は、見守り、周辺の環境整備、給餌、採蜜、巣箱づくりなどです。初心者でも大歓迎です。ご興味ある方からのご連絡をお待ちしております。

青少年　環境　愛知県 長久手市

■日　時：3日に1度程度、当番を決めて見守りをします。それ以外に採蜜など必要が生じた時にみんなで集まって作業をします。
■場　所：愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
長久手市茨ケ廻間乙1533-1
■その他：お電話でお申込みください。（火曜日定休）　【持ち物】防護服、グローブなど必要なものはこちらで用意します
【子ども連れでの参加】可能

問合せ
愛・地球博記念公園管理事務所
担当：山口・松永
TEL：0561-64-1130（8:30～17:00）

「おもちゃ図書館ともだち」ボランティア募集

「おもちゃ図書館」は、子どもたちにおもちゃで遊んでもらい、気に入ったおもちゃを無料で貸出すボランティア活動です。主な活動内容は、開館の準備と片付け、おもちゃの貸出手続きや管理などです。月1回、2～3時間の活動でもOK！子ども好きな方、特に継続して活動してくださる方をお待ちしています。

青少年　障害者　名古屋市 北区

■日　時：毎月第1月曜日、第2土曜日10:00～15:00
第3日曜日13:00～16:00 ※祝日は休館。その他臨時休館あり
■場　所：名古屋市総合社会福祉会館6階トレーニングルーム
名古屋市北区清水4-17-1　北区総合庁舎内
■その他：事前に電話またはEメールにてお申込みください。ご興味のある方は、まず一度見学がてら遊びにお越しください。【子ども連れでの参加】可能

問合せ
名古屋市社会福祉協議会　担当：井本
TEL：052-911-3180（8:45～17:30、土日祝日除く）
FAX：052-917-0702
E-mail：nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp

NPO法人・一般社団法人・財団法人
設立・会計・税務等の支援をします
お気軽にご相談ください
サカエ税理士法人　税理士・公認会計士　遠島敏行
名古屋市中村区黄金通2-54　TEL：052-482-6600
URL：http://www.sakaetax.com
http://www.seturitu-unei.com/
E-mail：info@seturitu-unei.com

地域に根差す 社会貢献企業へ
2021年2月 SDGs宣言

ニーズに応える印刷会社
デジタルコンテンツ・AR（拡張現実）等
オフセット印刷
商業印刷全般
セキュリティー印刷
金券、商品券、証明書 等
防災マニュアル・飲料水
気軽にお問い合わせください
菱源株式会社
https://hishigen.co.jp
〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條松下75
TEL.052-444-2323 FAX.052-444-2636
【東京営業所】TEL.03-5577-5686
ISO14001：2015認証取得
プライバシーマーク 19001222
●菱源株式会社は「ボラみみ」を応援しています。

ボランティア活動員募集！

名大病院では、外来患者さんの案内などを行っていただくボランティアを募集しています！活動内容は、病院内の場所案内、車いすの方の移動のお手伝い、初診患者さん向けの書類記入のお手伝いや代筆、再診患者さん向け受付機の操作のご案内、患者用図書室での本の貸出、本の整理等です。

医療　高齢者　名古屋市 昭和区

■日　時：月～金曜日いずれかの9:00～12:00（3時間）
■場　所：名古屋大学医学部附属病院　外来棟・中央診療棟または患者図書室
名古屋市昭和区鶴舞町65
■その他：「ボランティア活動申込書」を郵送またはFAXにて提出ください。申込書は本院ホームページからダウンロードしてください。【資格、条件等】18歳以上70歳未満で健康な方。1年以上継続できる方。

問合せ
名古屋大学医学部附属病院
医事課 患者支援係 ボランティア担当
TEL：052-744-2854（平日9:00～17:00）
FAX：052-744-2880

自治体の「包括外部監査」の「評価班員」大募集！

まちづくり　人権平和　オンライン

都道府県・政令市・中核市が実施する「包括外部監査」を分析、評価し、「通信簿」を作成する弁護士・公認会計士・税理士・学者・議員らを募集いたします。自治体の包括外部監査報告書を読み、検証・評価して「通信簿」に要約します。検証・評価の方法の基準などは事前にお教えします。

■日　時：3月8日（金）顔合わせ18:00～20:00、4月6日（土）・21日（日）、5月11日（土）・26日（日）、6月8日（土）・23日（日）、7月6日（土）・7日（日）・20日（土）9:00～18:00
※全ての会議に出られなくても大丈夫です
■場　所：Zoom
■その他：Eメールにてお申込みください。匿名での参加も可能です。将来包括外部監査人・補助者希望者も歓迎です。
【申込〆切】4月5日（金）

問合せ
全国市民オンブズマン連絡会議　担当：内田
TEL：052-953-8052（10:00～18:00）
FAX：052-953-8050
E-mail：office@ombudsman.jp

青年教室（障害のある方の余暇活動）

各青年教室により内容は異なりますが、音楽プログラムやストレッチ、レクリエーション等を行っております。そこで一緒に活動してくれるボランティアを、各所2名募集しています。

障害者　名古屋市内

■日　時：偶数月の第3土曜日
■場　所：サポートセンターbeingあつた　名古屋市熱田区神宮4-4-5
サポートセンターbeing小本　名古屋市中川区小本1-20-37
サポートセンターbeing吹上　名古屋市昭和区吹上町1-35-7
サポートセンターbeing瑞穂　名古屋市瑞穂区神穂町7-35
■その他：開催日の2週間前までに、電話、Eメールでお申込みください。
【持ち物】動きやすい服装、上履き、水分　【資格、条件等】心身ともに健康な方

問合せ
中川区障害者基幹相談支援センター　担当：高橋
TEL：052-354-4521（9:00～17:00）
FAX：052-354-2201
E-mail：ikuseikai@nakagawa-shiencenter.jp

子どもたちの成長の場を作るサポーター募集

高浜市に住む小・中・高校生の学習等のサポート、特に生活困窮世帯や学習の遅れ、不登校など支援が必要な児童に対する支援です。子どもたちの挑戦をサポートしたい、子どもの居場所作りに興味がある、教員を目指している、効果的な学習方法を研究したい、子どもの貧困や教育格差に興味があるという方に、おすすめです。

青少年　生涯学習　愛知県 高浜市

■日　時：毎週土曜日9:00～17:00
■場　所：高浜市いきいき広場
高浜市春日町5-165 住宅供給公社 サンコート三高
■その他：「チャレンジサポーター問い合わせ」フォーム（QRコード）より必要事項を記載の上、お申込みください。交通費支給（初回の体験・見学時の支給はありません）

問合せ
NPO法人アスクネット
担当：高田
TEL：052-881-4349（9:30～18:30）
FAX：052-881-5567 E-mail：info@asknet.org

「学習支援・子ども食堂サポーター」募集

勉強を教えるのではなく一緒に答えにたどり着くような、どなたにでもできるサポートです。学び直し、教育や福祉に関心のある方におすすめです。併設の子ども食堂のお手伝いも募集。様々な大学の仲間と一緒に子どもたちを応援しましょう！※「尾張旭市まちづくり活動貢献学生認定制度」の対象

青少年　生涯学習　愛知県 尾張旭市

■日　時：毎週土曜日8:30～16:30
■場　所：多世代交流館いきいき
尾張旭市稲葉町1-41-1
■その他：下記問合せ先、QRコードよりお申込みください。地下鉄東山線「藤が丘」、名鉄瀬戸線「尾張旭」より送迎有。ボランティア活動証明書発行。交通費実費支給、子ども食堂の昼食付き。

問合せ
NPO法人しみんシップnet
担当：伊藤
TEL：070-3144-6485
E-mail：shiminship@gmail.com

小中学生の家庭教師ボランティア募集

児童養護施設にて、子どもたちの学習やピアノを教えてくださる方を募集します。子どもたちに寄り添い、1対1で関わりながら楽しい時間を過ごしませんか？長期で一人の子どもにじっくり関わって関係を深めてほしいです。その関わりが子どもたちにとって宝物になります。興味がある方はお気軽にお電話ください。

青少年　名古屋市 緑区

■日　時：平日15:00以降（週1回1時間程度）
■場　所：中央有鄰学院 児童養護施設ゆうりん
名古屋市緑区大高台2-1718
■その他：お電話でお申込みください。【最寄り駅】JR東海道線「南大高」徒歩15分【持ち物】筆記具【資格、条件等】社会福祉学科、教育関係、子育て経験ある方歓迎

問合せ
児童養護施設ゆうりん　担当：杉浦
TEL：052-621-2441（9:00～20:00）
FAX：052-622-5509
E-mail：yuurin@yuuringakuin.or.jp

中川区荒子で日本語ボランティア体験 初心者歓迎

中川区荒子の日本語教室で、外国の方が、文字やあいさつ、文法や会話の勉強をしています。日本語を教えてくださるボランティアを募集しています。初心者の方歓迎です。教え方などはテキストに沿ってくわしく説明させていただきます。（中川区内など近隣に在住の方限定です）

国際　まちづくり　名古屋市 中川区

■日　時：3月3日（日）・10日（日）・17日（日）9:45～12:00
■場　所：名古屋市中川区社会福祉協議会 研修室・調理室
名古屋市中川区小城町1-1-20
■その他：Eメールにて、お名前、連絡先（電話またはメールアドレス）、ご住所（町名まで）、参加希望日をお知らせください。【子ども連れでの参加】可能【定員】1日1～2名

問合せ
なかがわにほんごサロン
担当：おざき
TEL：070-5642-2716
E-mail：nihongo.nakagawa.moriyama@gmail.com

ALOE（海外生活体験のある女性の会）会員募集中！

海外で生活をしたことのある女性の集まりです。現地で実際に見聞きした人々の生活や、彼等との交流から学んだボランティア精神を日本の社会でも活かせたらという思いで、1985年春に誕生しました。主な活動は、日本語教室、海外前後赴任サポート、国際交流イベント参加や開催などです。

国際　環境　名古屋市 中区

■日　時：【月例会】第3火曜日10:30～12:00【日本語教室】対面 木曜日10:30～12:00／オンライン 月曜日10:30～11:30他、活動予定はホームページをご覧ください。
■場　所：あいち国際プラザ／オンライン
名古屋市中区三の丸2-6-1
■その他：ホームページの問い合わせフォーム、またはEメールにてお問い合わせください。【参加費等】年会費3000円【資格、条件等】1年以上の海外生活体験のある帰国女性

問合せ
ALOE（海外生活体験のある女性の会）
担当：土井
E-mail：aloenagoyavol@gmail.com

「ボラみみ」の財源は、みなさんの支援です。

ボラみみ

毎号9千部発行の『ボラみみ』は、ボランティア情報を無料で掲載、無料で配付しています。発行にはたくさんのボランティアが力を注いでいますが、それでも毎回多額の資金がかかります。是非会員になって『ボラみみ』を支えてください。

■会員種類と特典　●が得られる特典です。

	賛助会員		正会員	
	個人・団体	法人	個人・団体	法人
年会費	3,000円	10,000円	10,000円	50,000円
ボラみみの活動がわかる年3回のニュースレター	●	●	●	●
市民活動の情報満載の『ボラみみ』が年6号	●	●	●	●
ボランティア情報の優先掲載			●	●
NPOや企業の広報掲載料の割引			●	●
ボラみみの事業活動・運営に参加ができる（総会の議決権）			●	●

■振込先　特定非営利活動法人ボラみみより情報局　郵便振替口座/00830-9-71034　三菱UFJ銀行柳橋支店（普）/1799329

ボラみみ INFORMATION

新規・継続会員登録の方々（順不同）

■団体正会員：

【継続】●特定非営利活動法人レスキューストックヤード様

■個人正会員：

【継続】●園部 吉規様 ●谷口 知子様 ●矢内 淳様
●匿名1名

【新規】●小松 俊雄様

■賛助会員：

【継続】●坂井 文子様 ●木村 仁志様
●林 香菜子様 ●日本ニュースポーツ研究会様
●匿名2名

■寄付：●木村 仁志様 ●匿名28名

「ボラみみ」配布先

ー詳細はホームページにて掲載中！ー

●WEBより

http://www.boramimi.com/haihu/

●携帯より

QRコード

みんなの声

●**公益財団法人アジア保健研修所（AHI）様**
気軽に手に取りやすい冊子なので、また掲載したいです。

●**特定非営利活動法人ル・スリール・ジャポン様**
新型コロナウイルス感染症による影響もほぼなくなり、ボランティア募集を再開します。今後ともよろしくお願いいたします。

●**特定非営利活動法人ささしまサポートセンター様**
子どもたちと一緒に走り回って遊んでくれるボランティアを探していますが、なかなか見つかりません。また掲載したいです。

●**九番団地日本語教室AULADOKYUBA様**
新型コロナが5類になって、学習者が増えました。今後も利用させていただきます。

編集後記

まち

オルタナティブ・スクールあいち惟の森の入り口には、子どもたちの書いた学校案内があり、「自分でこうどうする場です」とありました。取材を通して、スタッフの皆さんが子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちの選択に寄り添い、あたたかく見守っていらっしゃることが伝わってきました。その姿勢がしっかりと子どもたちに伝わっているからこそ、子どもたちは安心して「自分で行動」できるのですよね。

次号予告

次号のテーマは **「つなげる つながる」**。

2024年5月1日発行予定です。お楽しみに！

特定非営利活動法人
ボラみみより情報局

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F TEL 052-228-7824 FAX 052-228-7834
E-mail office@boramimi.com URL http://www.boramimi.com/ 代表 織田元樹 印刷 菱源株式会社

11・12月の設立認証NPO法人

名　称	所在区	主な活動分野
日本家庭動物愛護協会東海	西区	保健・医療・福祉
molst	中区	まちづくり
児童福祉の架け橋	中区	子どもの健全育成
はないちもんめ	名古屋市	保健・医療・福祉

12月末現在の所管法人数

★認証法人数：866法人　認定法人数：29法人　特例認定法人数：3法人

センター主催講座・イベントのご案内

3/21［木］ 13：30～16：30

NPO講座「NPOをつくろう」ゲストトーク編 & 法人設立編 ☆同日開催

（受付中）　＊ゲストトーク編又は法人設立編のみの参加も可能です。

◆ゲストトーク編 <13:30～14:50>
「そもそもNPOとはなに?」「非営利とはどういうこと?」など、基礎的な講義とNPOの運営や活動への思いなどを学べる講座です。NPOに興味・関心のある方,実際の活動の話を聞きたいという方はぜひ!

◆法人設立編 <15:00～16:30>
「NPO法人ってなに?」「どうやってNPO法人を設立するの?」など、NPO法人の設立前に準備するものや書類作成のポイントを学べる講座です。自分たちでNPO法人を設立しようと考えている方はぜひ!

■定員：各30名　■参加費：各500円（＊それぞれに申込と参加費が必要です）
■ゲスト：大竹　由美子氏（NPO法人ぷくぷくばるーん）　■講師：市民活動推進センター職員

講座受講のお申込みは、窓口・電話・FAX・電子メールにて受付けます。電子メール・FAXでお申込みの際は、**講座名・氏名・電話番号・所属団体・参加動機・名古屋市内での活動の有無**をご記入ください。名古屋市内で活動しているまたは活動する意思のある個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。

※定員に達した時点で、締め切らせていただきます。ご了承ください。

■NPOアドバイザーによる個別相談のご案内　［参加費：無料、要申込］

内　容	日　程	担当アドバイザー
会計・税務	3/12［火］14:00～, 15:30～, 17:00～	足立　勝彦（税理士）
設立・運営	3/15［金］16:00～	織田　元樹（NPO法人ボラみみより情報局）
設立・運営	3/22［金］16:00～	織田　元樹（NPO法人ボラみみより情報局）
会計・税務	3/27［水］10:00～, 11:30～, 14:00～, 15:30～	黒田　朱里（公認会計士・税理士）

【問合せ・申込先】
名古屋市市民活動推進センター
電話：052-228-8039　FAX：052-228-8073
電子メール：npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp　URL：https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/

※個別相談は、名古屋市内で活動する（または活動予定のある）NPO・市民活動団体が対象です。

スタッフのつぶやき

スタッフ：田中（利）

コロナの時期は、席数を減らしたりしてお使いいただいたセンターのフリースペース。現在は、その制限も取り払われ、元の席数に戻っています。ただ、コロナ前のような賑わいがなかなか戻ってこないのが現状。平日の夜などは、比較的空いていますので、打ち合わせ、勉強会、作業などにご利用ください。センタースタッフ一同、皆さんのご利用をお待ちしております！

イラスト協力：加藤舞美

NPO法人向け 伝言板

◇ 市税の減免に関する申請をお忘れなく ◇

地方税法においては、収益事業を営まないNPO法人であっても、法人市民税の均等割が課税されます。名古屋市では、市税減免条例の規定により、収益事業を営まないNPO法人については、均等割申告書の申告納付期限までに均等割申告書と減免申請書を提出していただいた場合に限り、均等割額の全額を減免します。**2024年の提出期限は、【4月30日】です。書類の提出は毎年必要です。**
期限までに提出されない場合には、減免が適用されず、均等割が課税されますのでご注意ください。

●提出先及びお問い合わせ先：栄市税事務所 法人課税課法人市民税係　TEL：(052)959-3305

◇ 登記事項に変更があった場合は、変更の登記をお忘れなく ◇

NPO法人は、登記事項に変更があった場合、組合等登記令に基づき変更の登記を行う必要があります。登記を怠ると、理事、清算人は20万円以下の過料に処される場合があります。

登記事項	期限
法人の名称・事務所所在地・目的・事業内容等 代表権のある役員の氏名・住所等	・主たる事務所の所在地は2週間以内 ※その他の項目については、内容により期限が異なるため、法務局へ確認してください。

●登記に関する問い合わせ及び書類の提出先（※名古屋市内のNPO法人の場合）
名古屋法務局（本局）
住所：名古屋市中区三の丸2-2-1（名古屋合同庁舎第1号館）　**TEL：052-952-8111**（音声ガイダンスにつながります）

大学生インターンシップ、インターンの声をお届けします！

10月から12月にかけて、大学生のインターンが4名やってきました。主催事業（なごやNPO応援フェスタ、ナゴヤアドベンチャーマラソン、ぼらマッチ！なごや2023）や講座の運営、交流スペースの広報物の掲示などに携わっていただきました。

松田 奈央さん（左端）
インターンシップを通して、行政が市民活動を支援する意味、市民活動推進センターの役割について、学ぶことができました。実際にイベントに参加し、熱意あるNPOと市民の方がつながっていく様子を見ることができ、貴重な経験となりました。今後も何らかの形でNPOと関わっていきたいと感じる7日間のインターンシップでした。

大岩 愁汰さん（右端）
サークル活動で関わることの多いNPOを支援しているセンターでのインターンシップということで、自分の知識を生かせると思っていました。しかし、私の知らない活動も多く、市民活動は奥深いなと実感しました。ナゴヤアドベンチャーマラソンやぼらマッチなど、名前は知っていても参加したことがない企画にも、多くの方々が関わっているとわかり、これからは違った目線で参加したいと思いました。また、講座の補助では、意欲的に参加している方々を拝見し、市民活動への熱意を感じました。幅広く、様々な形で市民活動にアプローチでき、感動しました。

中子 穂乃佳さん（左から2番目）
NPOについての知識をはじめ、市民活動に励む方々の熱量、職員の皆様と市民の方たちとの関わり方など非常に多くのことを見て、知り、吸収することができたと感じています。また、市民の方と関わるイベントなどでは、どのようなアプローチが最も伝わり、理解や協力が得られるかを考える契機となりました。市民の方々への声の掛け方にはまだまだ至らない点があるため、今後に生かしたいと思います。

髙田 数馬さん（右から2番目）
センター業務やイベントの参加を通して、様々な問題解決のために活動している団体が多く存在することを知りました。地域課題に直接働きかけるのが行政の役割であると考えていましたが、問題解決に向けて活動しているNPOの活動を支援することも、重要な役割であると学びました。これからの未来を生きるのは私たち若者であり、希望と共に責任を持つ必要があります。持続可能な社会の形成のためにも、自然環境や人々のための活動に主体的に参加していきたいです。

特集

NPO法人の組織運営の手引　総会手続き編

事業年度が3月31日までのNPO法人は間もなく決算となります。そこで今回は、下記のモデルケースについて、総会運営の手順を時系列でまとめました。

はじめての総会を迎える団体や、事務局スタッフが交代した団体などは、ぜひ参考にしてみてください！

総会の運営にあたり、まずは自分たちの法人の定款を確認してね。確認のポイントは以下の3つだよ。

①役員（理事・監事）を選任するのは総会か理事会か

②役員の任期と改選時期、任期の伸長規定の有無

③理事会と総会で議決すべき事項の違い

①～③の違いによって、総会運営の手順は異なるよ！

★総会運営手順のモデルケース

［以下の要件を満たす法人の場合］　※法人によって異なりますのでご注意ください

●事業年度が4月1日から3月31日まで　●役員は総会で選任する

●役員の任期について、伸長規定がある　●事業報告や決算などについては総会で議決する

3月	理事会	役員の就任・退任に関することや、事業のふりかえり、新年度の方針や事業計画について話し合います。定款変更の必要性を判断します。開催後は議事録を作成します。
4月下旬	決算・監査	総会にはかる資料（前年度の事業報告書及び決算書類（財務諸表）など）を作成し、監事の監査を受けます。
	理事会	総会にはかる資料について議決します。そのほか、総会当日の運営に必要な事項について確認をします。開催後は議事録を作成します。
	総会資料発送	正会員に資料を発送するとともに、出欠の確認をとります。欠席の場合は委任状または書面表決書の提出を求めます。
	委任状回収	総会の開催に必要な人数を確保するため、欠席の場合は委任状または書面表決書の提出を促します。
	社員総会	事業報告や役員変更など議決事項について議決をします。定款変更は必ず総会で議決すべき事項となっています。総会終了後は速やかに議事録を作成し、議事録署名人に署名を依頼します。役員変更があり、代表権のある理事を互選する必要がある場合は、別途、新任理事による理事会を開催します。
5月下旬	貸借対照表の公告	定款で定めた方法（①官報　②新聞等　③電子公告等　④主たる事務所の公衆の見やすい場所　のいずれか）に基づき、貸借対照表を公告します。 ※①以外の方法での公告を希望する場合、定款変更が必要です。定款変更がお済みでない法人は、上記社員総会の議決事項に定款変更（公告の方法）を追加しましょう。
6月	所轄庁/法務局へ各種届出	事業年度終了から3ヶ月以内に所轄庁へ事業報告書等を提出します。ほかに、総会において変更のあった事項について、必要に応じて所轄庁へ届出あるいは申請すると共に、変更のあった登記事項については定められた期限内に法務局へ登記します。
	事業報告書の備え付け	主たる事務所および従たる事務所に事業報告書を備え付けます。事業報告書等は5年間備え置きます。

2024
3・4月号
No.110
無 料

なごや市民活動通信

発行：名古屋市市民活動推進センター

INDEX

特集 NPO法人の組織運営の手引　総会手続き編
大学生インターンシップ、インターンの声をお届けします！

センターニュース

「ぼらマッチ！なごや2023」を開催しました！！

2023年12月2日、愛知大学名古屋キャンパスで、“ボランティアを探している団体・施設”と“ボランティア活動をしたい人”のマッチングイベント「ぼらマッチ！なごや2023」を開催しました。

社会貢献・ボランティア活動をしている方々によるトークイベント「ぼらトーーーク！」では、登壇者の若者それぞれから、活動を始めたきっかけ、活動をする上での思いや苦労などが率直な言葉で語られ、会場の皆さんの胸に響いたことと思います。質問タイムでは、ご年配の方からも手が挙がり、世代間の交流も見られました。

ボランティアを募集している団体・施設によるブースでは、38もの団体・施設が出展し、来場者の皆さんが、自分に合うボランティアを探して、多くのブースを回られました。

来場された方からは、勉強になった、活動に参加してみたい団体・施設が見つかったという声をいただきました。参加団体・施設の方からは、一緒に活動するボランティアが見つかっただけでなく、他の団体とも交流ができたこともよかったとのお声もいただきました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

「ぼらトーーーク！」には、名古屋市内の大学生と「名古屋オーシャンズ サテライト」の選手が登壇しました。

こちらの皆さんと企画運営を行いました！

愛知学院大学 AGUボランティアセンター、愛知学院大学 社会連携センター、愛知淑徳大学 学生団体らぶ・（てん）、愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター、愛知大学 Aivo、愛知大学 ボランティアセンター、株式会社デンソー、特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、名古屋学院大学 社会連携センター、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、名古屋市青少年交流プラザユースクエア、特定非営利活動法人ボラみみより情報局、名城大学 学務センター、名城大学 ボランティア協議会（50音順）

■発 行 日：2024年3月1日
■発行部数：9000部

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパークデザインセンタービル6階 TEL 052-228-8039 FAX 052-228-8073
E-mail npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp URL https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/

印刷：菱源株式会社 ©名古屋市市民活動推進センター 2024 禁・無断転載